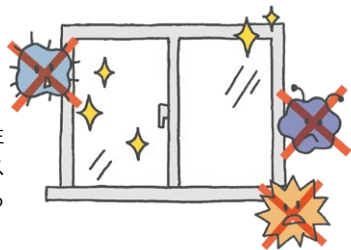


こんなメリットもあります！

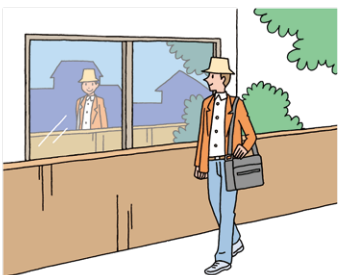
カビ対策も できる

カビ・ダニ抑制、健康的な住環境の維持、メンテナンスコストの削減につながるというメリットがあります。



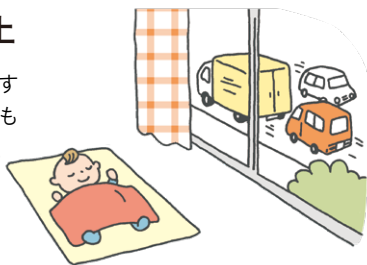
明るさと プライバシーを 両立

日中、外から室内が見えにくいため、カーテンなしでもプライバシーの確保につながり、明るさも保てます。



防音性の向上

防音に配慮した窓にする事で、騒音の悩みも軽減できます。



開放感のある快適な暮らしになりました！

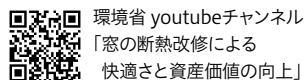
神奈川県在住・Kさん

以前は隙間風が気になっていましたが、窓の改修後は暖かく過ごせており、外からの音も静かになった気がします。

また、以前の窓にあった横桟(よこざん)がなくなり、部屋が明るく広くなったように感じられ、景色もクリアに見えて開放的です。

さらに、高性能な複層ガラスのおかげで、日中は外から部屋の中が見えにくく、プライバシーが保てるので安心感があります。

窓断熱リフォームを行った事例動画もぜひご覧ください。



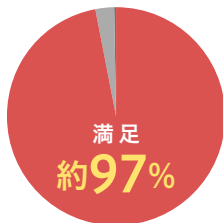
環境省 youtubeチャンネル
「窓の断熱改修による
快適さと資産価値の向上」

入居者に聞きました！

手軽に実施可能&満足度も非常に高い 窓断熱リフォーム！

窓の断熱リフォームを実施した
消費者の約**97%**が、『満足*』と答えています。

※先進的窓リノベ2025事業を活用した消費者向けの調査(環境省実施)の結果による。



■どちらともいえない 2.8% ■不満 0.2%

冬の窓辺も快適になった／西陽がやわらいだ／空調の効きが良くなった／防音効果が高まり静かになった／電気代が下がった・・・など、**快適性向上・省エネ効果**を実感する声が多く寄せられました。

先進的窓リノベ 2026事業



先進的窓リノベ
2026事業事務局サイト
<https://window-renovation2026.env.go.jp/>

概要 高い断熱性能を持つ窓への改修に関する費用の一部を定額補助(住宅:上限100万円/戸、延床面積240㎡以下非住宅建築物:上限100万円/棟、延床面積240㎡超非住宅建築物:1,000万円/棟)

対象者 令和7年11月28日以降に「リフォーム工事」に着手した方

受付期間 令和8年3月31日～予算上限に達するまで(遅くとも令和8年12月31日まで)
※申請(一括)及び非住宅建築物は5月以降に受付開始予定

環境省では、窓の断熱改修を含め、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」を進めています。詳しくはこちら。



窓断熱リフォームのメリット等について、
環境省デコ活Instagramで動画公開中
@COOLCHOICE100



〳 オーナーさん必見! 〳〳
賃貸 集合住宅 の

窓断熱 リフォーム のメリット!

子ども・高齢者編



環境省
Ministry of the Environment

今なら補助金*もあります

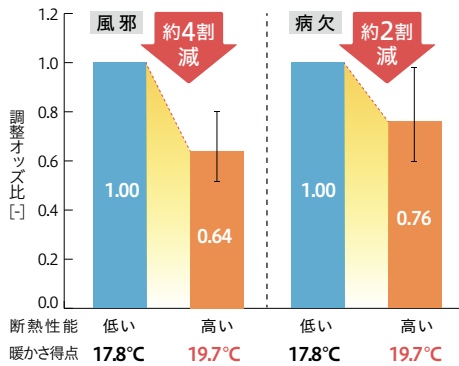
*先進的窓リノベ事業など

体感温度最適化は窓リノベから 断熱性能向上で健康で快適な暮らしへ

窓断熱リフォームは、単に快適性を高めるだけでなく、
室温の安定化を通じて、
ご家族の健康優良性を高める効果があります。

風邪と病欠が少ない暖かな住まい

分析対象：小学生(集団生活の条件を揃えるため)



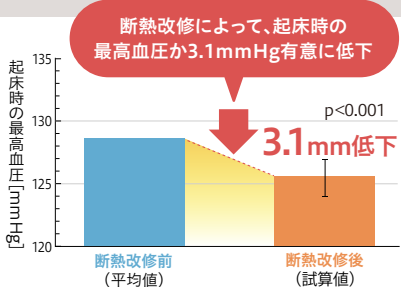
暖かな住まいでは
●風邪をひく子どもが約4割減
●病欠する子どもは約2割減



一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長 伊香賢 俊治氏資料より抜粋し作成

冬の健康は、窓から守る！高血圧対策に「窓リノベ」

家の断熱性能を高めることで、お部屋の温度が安定し、冬場の急激な温度変化によるヒートショックからくる**血圧の急上昇を防ぎます**。
血管へのストレスが減り、血圧の安定化に貢献します。



健康日本21(第二次)が掲げる「40～80歳代の国民の最高血圧を平均4mm低下させる」という目標にも匹敵する結果に！

4mm低下の目標達成により

脳卒中死亡者数が年間約1万人
冠動脈疾患死亡者数が年間約5千人減少と推計※1

※1 日本高血圧学会 高血圧治療ガイドライン2019



スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 第9回報告会2025.2.13より抜粋し作成

断熱改修から5年後調査で判明！ 断熱改修の驚くべき健康効果

冷え込む冬の住まいは、ヒートショックだけでなく、様々な体の不調の原因になっていることをご存知でしょうか。最新の調査で、住宅の断熱化があなたの健康寿命を延ばす驚くべき効果が明らかになりました。



平均室温が18°C未満の住まいと18°C以上の住まいを比較すると…

5年後までの年1回以上転倒

居間床近傍
室温18°C以上の
世帯は
約6割減



5年後までの夜間頻尿発症

就寝前室温
18°C以上の世帯は
約6割減



5年後までの脂質異常症発症

就寝中平均室温
18°C以上の世帯は
約7割減



スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 第8回報告会2024.2.20より抜粋し作成

先進的窓リノベ事業を
活用して

窓断熱リフォームを実施したオーナーに話を聞きました！

数十年先を見据えて、
今こそ断熱リフォームを！

小川さん



所有するアパートなど全3棟の主要窓に内窓設置を行いました。

断熱性能が格段に上がり、騒音も軽減しました。自宅も同時に改修したことから、私自身も改修の効果を実感しています。

入居者様にとってより住みやすい環境となれば、入居率アップにつながるなど、経営的にも多くのメリットが期待できます。

築年数が経過して、新築物件が次々と建ち並ぶ中、家賃を下げざるを得ない状況を避けるためにも、賃貸経営は30年のスケールで見定期的なメンテナンスを行い、資産価値を高めていく工夫が重要だと思っています。



主居室の南側に内窓設置

入居者満足度を高め
賃料アップ&満室稼働を実現
(株)エフ・ケー・ジェイ 内田さん



築20年の大規模修繕時、9割の住戸に内窓を設置しました。この効果を実感したため、2023年「先進的窓リノベ事業」などを活用し、全戸の玄関ドアや残る住戸の窓を断熱改修しました。

冬場の寒さが軽減しただけでなく、結露が激減してカビの発生がほぼなくなったので入居者様も喜ばれ、結露に関するクレームもなくなりました。また、退去後の原状回復工費が軽微で済むようになり助かっています。

入居者の満足度が上昇したことで退去率の低減につながり、さらに賃料アップしても満室稼働の維持を実現できたことで、窓リノベによる多くの経営メリットを実感しています。



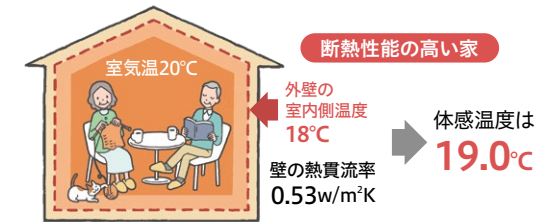
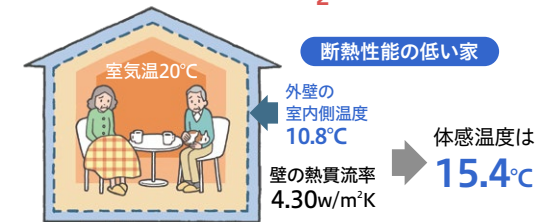
全住戸の内窓設置を実施

キーアーキテツ株式会社 一級建築士事務所 代表
一般社団法人 パッシブハウス・ジャパン 代表理事
ドイツ・バーデンビュルゲンベルク州公認建築士
森 みわ氏

空気の温度 = 体感温度ではなかった！

「空気の温度」と「体感温度」は同じではありません。実は、体感温度には建物の断熱性能が大きく影響します。エアコンで設定温度を調整するだけでなく、外壁や窓などの断熱性能を高めることで、体感温度を空気の温度に近づけ、より快適に過ごせるようになります。

$$\text{体感温度} = \frac{\text{外皮の内側の表面温度} + \text{室温}}{2}$$



一般社団法人 パッシブハウス・ジャパン 代表理事 森 みわ氏資料より抜粋し作成